

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日 : 平成18年11月29日

評価日 : 平成18年11月28日

グループホーム名	なぎさ
----------	-----

作成者(代表)	職名	管理職
	氏名	青木 伸夫

改善計画書(兼改善状況報告書)

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(18年11月28日現在)
	自己	外部				
1	3	2	運営理念を短く一言で表し、重要事項説明書に明示すると共に、ホームの中の目につきやすい所へ掲示する。	12月の役員会に報告できるよう進める。	12月中旬	運営理念が理解しやすくなり、職員に徹底すると共に、家族等、また地域の方々に理解していただくことが出来る。
2	23	18	介護計画の見直しを6か月から3か月に変更する。	3か月に変更すると共に家族の出会いについても呼びかけをする。	直ちに	生活状況の変化に早く対応でき、家族の参加が期待できる。
3	25	20	確実な申し送り、情報伝達。	現在の生活日誌による申し送りに各自がサインをする。	直ちに	申し送りの徹底、情報の共有が出来た。
4	17	13	時の見当識への配慮。	居間の時計とカレンダーを増やす。	12月中旬	ホールへ時計を増やし、カレンダーを増やすことで時間感覚が向上する。
5	9	8	利用者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり。	自宅からなじみの品物を持ち込んだり、お孫さん等が作ったものを飾ったり、環境づくりを行う。	その都度	馴染みの品物を持ち込むことで、安らぎのある落ち着いた部屋になる。
6	101	55	成年後見制度の活用と知識修得の為の学習。	今後の活用に備え、学習を進めると共にパンフレットを用意する。	3か月に1回勉強会	勉強会により理解を深め、今後の活用及び地域の方々にも役立つことが出来る。
7	128	69	市の介護研修等の事業で受諾できるものがあれば受諾する。	市に働きかけ、介護研修等の事業を受け入れるよう努力する。	継続	地域に出かけ、介護研修等の事業を行う事で、地域に役立つことが出来る。